

# 夜明けまえ

The Dawn of Japanese Photography [Shikoku district, Kyushu district & Okinawa prefecture]

幕末の開国と時を同じくして、日本にもたらされた写真。芸術作品に用いられる以前の写真は、どのようなものだったのでしょうか。

江戸時代の写真は、西洋技術の象徴でした。日本が開港すると、訪日する写真師との関わりから、鶏飼玉川や上野彦馬など、日本人の写真師が各地に現れます。そして、彼等から技術がさらに伝承され、内戦を経て西洋的近代化へ向かう日本に写真技術は広く普及・伝承されていきました。

関東編、中部・近畿・中国地方編に引き続き、第三回となる本展は、現存する貴重なオリジナル写真作品・資料を展覧します。出品作品は、当館および協力機関の収蔵作品のほか、四国・九州・沖縄の公開機関を持つ約2,200の施設へ収蔵調査を行って所蔵が明らかになった多くの未公開作品で構成されます。

本展では、「であい」「まなび」「ひろがり」の三章によって写真師と被写体の両面から迫ります。すでに失われてしまった風俗や風景、人の姿が現代とは異なる方式によって、現在に伝えられている写真。フィルムからデジタルへの移行で実体が希薄になった写真において、物質としての強さを初期写真から再考します。本展は、現在にまで伝わる貴重な写真に触れる希少な機会となるとともに、表現という概念が存在しなかった時代の写真にも作品性が根源的に宿ることを実際のモノによって体験できる場となるでしょう。

本シリーズは引き続き、写真の伝播と普及についての調査・研究をすすめ、「北海道・東北編」、「総集編」へと展覧会を開催し、日本中に現存する初期写真の現状を探る予定です。

## ●担当学芸員による展示解説

会期中第2・4金曜日午後2時より展示解説を行います。  
4/29(金・祝) - 5/5(木・祝)はゴールデンウィーク特別フロアレクチャーを行います。

## ●関連事業

古典技法ワークショップ

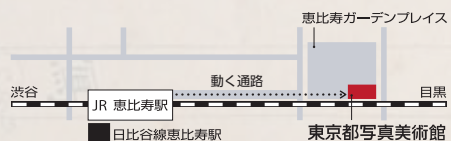
【3月】コロディオンプロセス / 【4月】鶏卵紙プリント / 【5月】カロタイプ  
詳しくはホームページ (<http://www.syabi.com>) をご覧ください。

本展は長崎歴史文化博物館および熊本県伝統工芸館へ巡回する予定です。

## 東京都写真美術館 [www.syabi.com](http://www.syabi.com)

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内  
TEL.03-3280-0099

- 開館時間 10:00 - 18:00 (木・金は 20:00 まで) / 入館は閉館の 30 分前
- 第三水曜日は 65 才以上無料、小学生以下および障がい者手帳をお持ちの方とその介護者は無料
- JR 恵比寿駅東口改札より徒歩 7 分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩 10 分。
- 当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。



1. 撮影者不詳/題不詳(崎原當貴像)/明治7(1874)年頃/南嶋民俗資料館蔵 2. 伝・堀江鉄次郎/題不詳(上野彦馬像)/文久元(1861)年頃/日本大学藝術学部蔵 3. 歌川芳員/外国写真鏡之図/万延元(1860)年/東京都写真美術館蔵 4. フェリーチェ・ベアト/題不詳(グラバー庭園のグラバーたち)/元治元(1864)年頃/長崎大学附属図書館蔵 5. 撮影者不詳/題不詳(中村芝翫像)/明治時代中期/高知県立歴史民俗資料館蔵 6. ミルトン・ミラー/題不詳(甲冑武士の武闘)/文久2(1862)年/長崎大学附属図書館蔵 7. ネグレッティ&ザンブラ社製「ガルハ焼入器」/明治初年/武雄市図書館・歴史資料館蔵 8. 「江崎寫真館」納入袋/玉名市立歴史博物館ころろピア蔵 9. 撮影者不詳/題不詳(長崎パノラマ)/文久元(1861)年頃/東京都写真美術館蔵